

日本自動車整備振興会連合会（日整備連、坪内協致会長）の発表によると、東日本大震災後の2011年度自動車整備総売上高は、5兆2982億円で3年ぶりに減少に転じた。金額で3039億円、前年度比5・4%のマイナスとなった。

長らく続くデフレや東日本大震災後の整備にかかる費用の冷え込み、維持費の安い軽・小型車の増加などが影響し、総整備売上高の減少につながった。

ここでは日整備がまとめた2012年度（11年度実績を反映）自動車分解整備実態調査結果の概要を紹介する。

なお、部品売上高などを含む詳細は「2012年度版自動車整備白書」（日整備より3月発刊予定）が発表され次第、誌面にて掲載する。

## 専業は2兆円を割り込む

日整備が調査したのは12年6月末現在で、売上高等については12年6月末に最も近い決算期分。そのため、調査結果の実績は東日本大震災直後の11年度ものを反映している。

総整備売上高は5兆2982億円で前年度比5・4%の減少を示した。リーマンショックの影響で落ち込んだ09年度調査を底に2年連続で増加していたが、その09年度調査結果

# 総整備売上高が 3年ぶりに減少

（5兆4671億円）をも下回った。

まず、整備売上高を業態別に見ると専業は1兆9515億円（前年度比7・7%、1631億円の減少）となるなど2兆円を割り込んだ。

ディーラーの総整備売上高は2兆5089億円（同5・8%減）だった。

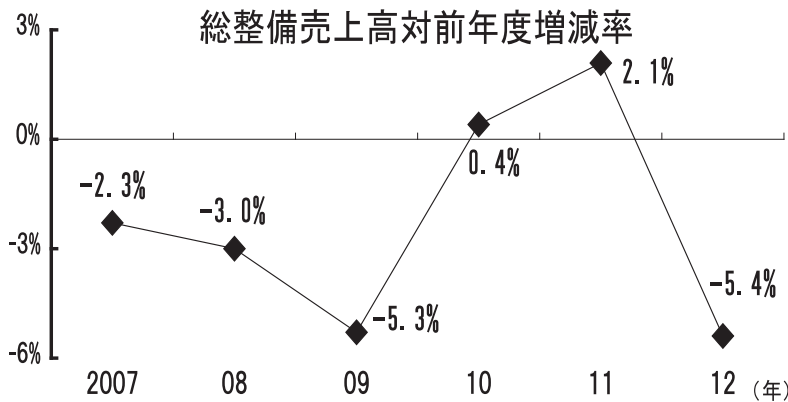
兼業（自動車販売、部品用品販売、保険、石油販売等の兼業部門の売上高が総売上高の50%以上を占める事業場）は、前年度の売上から4・1%増を示し、6194億円となった。

自家は2184億円で同4・6%のマイナスとなり、兼業以外はすべての業態でマイナスとなった。

## 兼業は「車検整備」が大幅増

次に総整備売上高を作業内容別に見ると、「車検整備」が2兆1299億円（同0・2%減）、「定期点検整備」が2914億円（同8・7%減）、「事故整備」が1兆1868億円（同5・4%減）、「その他整備」が1兆6901億円（同10・7%減）だった。

調査時点での事業場数は前年度と



ほぼ変わらず9万1867事業場。うち専業は5万7176事業場、ディーラーは1万5961事業場、兼業は1万5024事業場、自家は3706事業場だった。

専業の「車検整備」売上高は9309億円で0.2%の微減。金額に

して17億円減少した。「定期点検整備」は684億円で、4.9%減、35億円減少した。

「事故整備」は4118億円で、11.9%のマイナスとなり、555億円減少した。「その他整備」は5404億円で、減少幅が最も大きく15.9%減となり、金額にして1024億円のマイナスとなった。

一方、兼業は確実に「車検整備」売上高を伸ばしており、15.5%増の2954億円となった。しかし「定期点検整備」、「事故整備」、「その他整備」のすべての項目で減少を示している。

ディーラーの状況を見ると、全体の整備売上高は2兆5089億円で5.8%のマイナス、金額にして1548億円減少した。

作業内容別では「定期点検整備」の減少が大きく、11.6%減の1907億円だった。「車検整備」は8103億円で4.6%のマイナス、「事故整備」は6021億円で0.9%の微減にとどまった。「その他整備」は9058億円で8.6%減少した。

整備要員1人当たりの年間整備売上高は、専業では943万3千円で

して17億円減少した。「定期点検整備」は684億円で、4.9%減、35億円減少した。

「事故整備」は4118億円で、11.9%のマイナスとなり、555億円減少した。「その他整備」は5404億円で、減少幅が最も大きく15.9%減となり、金額にして1024億円のマイナスとなった。

一方、兼業は確実に「車検整備」売上高を伸ばしており、15.5%増の2954億円となった。しかし「定期点検整備」、「事故整備」、「その他整備」のすべての項目で減少を示している。

ディーラーの状況を見ると、全体の整備売上高は2兆5089億円で5.8%のマイナス、金額にして1548億円減少した。

作業内容別では「定期点検整備」の減少が大きく、11.6%減の1907億円だった。「車検整備」は8103億円で4.6%のマイナス、「事故整備」は6021億円で0.9%の微減にとどまった。「その他整備」は9058億円で8.6%減少した。

整備要員1人当たりの年間整備売上高は、専業では943万3千円で

前年度比7.5%減、ディーラーは2200万2000円で同5.2%減。平均では1332万円となり同5.2%の減少を示した。

**日整連が在庫促進を支援**

日整連は1月下旬に通常総会を開いた。そのなかで坪内会長は整備業界について「保有台数の頭打ち、少子高齢化社会の進行などによって市場の拡大や総整備売上高の増大を望むことが難しくなっている」と厳しい見方を示し、今後10年先を見据え



高まる軽自動車人気

業態・作業内容別整備売上高

(単位・億円)

業態	作業内容	車 検 整 備			定 期 点 検 整 備				事故整備	その他整備	合計	
		2年	1年	小計	1年	6カ月	3カ月	計				
専・兼業	売上高	8,237	4,026	12,263	462	123	291	876	5,357	7,213	25,709	
	増減額	+372	+8	+380	-40	-13	+1	-52	-589	-1,125	-1,386	
	増減比	+4.7%	+0.2%	+3.2%	-8.0%	-9.6%	+0.3%	-5.6%	-9.9%	-13.5%	-5.1%	
	専業	売上高	5,933	3,376	9,309	332	98	254	684	4,118	5,404	19,515
		増減額	+54	-71	-17	-27	-8	0	-35	-555	-1,024	-1,631
		増減比	+0.9%	-2.1%	-0.2%	-7.5%	-7.5%	±0.0%	-4.9%	-11.9%	-15.9%	-7.7%
	兼業	売上高	2,304	650	2,954	130	25	37	192	1,239	1,809	6,194
		増減額	+318	+79	+397	-13	-5	+1	-17	-34	-101	+245
		増減比	+16.0%	+13.8%	+15.5%	-9.1%	-16.7%	+2.8%	-8.1%	-2.7%	-5.3%	+4.1%
ディーラー	売上高	6,849	1,254	8,103	1,581	201	125	1,907	6,021	9,058	25,089	
	増減額	-263	-131	-394	-257	+15	-8	-250	-52	-852	-1,548	
	増減比	-3.7%	-9.5%	-4.6%	-14.0%	+8.1%	-6.0%	-11.6%	-0.9%	-8.6%	-5.8%	
自 家	売上高	703	230	933	76	47	8	131	490	630	2,184	
	増減額	-6	-25	-31	+7	+33	-17	+23	-40	-57	-105	
	増減比	-0.8%	-9.8%	-3.2%	+10.1%	+235.7%	-68.0%	+21.3%	-7.5%	-8.3%	-4.6%	
合 計	売上高	15,789	5,510	21,299	2,119	371	424	2,914	11,868	16,901	52,982	
	増減額	+103	-148	-45	-290	+35	-24	-279	-681	-2,034	-3,039	
	増減比	+0.7%	-2.6%	-0.2%	-12.0%	+10.4%	-5.4%	-8.7%	-5.4%	-10.7%	-5.4%	

日整連資料より



日整連・坪内協致会長

て取りまとめた自動車整備業界のビジョンに沿って事業を推進していくとした。

「自動車整備業のビジョンII」で示された課題に対する取り組みを進めるため、先進的な整備工場の好事例を取りまとめ情報提供することで、整備事業者が自ら実践に移すよう支援する。

また整備事業者が提案力をつけられるよう、長期使用車両の推奨点検整備やシーズン点検など、予防整備に関する提案メニューをまとめて提供し、入庫促進を図る。